

6月市議会定例会

一般質問

6月16日(火)から6月18日(木)の3日間の日程で、10人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して、紹介します。なお、未掲載の質問については、会議録やホームページをご覧ください。

6月16日(火)

自民クラブ

藤田幸正議員 (30分)



(1)市長の政治姿勢について

① これまでの取り組みと成果

② 副市長2人制

問 4月に重要な市政課題を所管する特命副市長として加藤龍彦氏が就任されたが、市長任期残りわずかなこの時期に、どのような期待を、また、思いを持って統括副市長と特命副市長の2人制を取り入れたのか、伺いたい。

答 本年は第五次長期総合計画の最終年度という重要な年度であることから、副市長を2人体

制とし、組織の強化を図った。

地方行政の豊富な知識と経験がある加藤氏には、本市の重要な行政課題について、これまでとは異なった視点から意見や提案を求め、新たな施策を展開するとともに、職員の意識改革や組織の活性化も期待している。

(2) 新型コロナウイルス感染症について

① 市民生活や地域経済などへの影響と対策

② 本市独自の支援策

(3) 農業、漁業の振興策について

① 農業委員会からの意見書

② 新居浜ブランド七福芋の増産

③ 農地の実態調査

④ 漁業協同組合の合併と担い手支援

(4) 新居浜駅南地区の整備について

問 駅北地区は土地区画整理事業により各種施設も整備したが、駅南地区は方針が決定されていない。現在民間施設が多く進出し、このままでは有効な土地活用が望めない。早急にまちづくり構想の方針を決定してはどうか。

答 駅南地区の整備について、今後、本市の財政状況や社会経済情勢および市全体の公共施設の再編なども十分に勘案し、第

六次長期総合計画の策定作業を進めていく中で、できるだけ早い時期にまちづくりの方向性を決定していきたい。

(5) 忠魂碑について

公明党議員団

黒田真徳議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症について

① マスク不足への対応

② 便乗詐欺への対応

③ 特別定額給付金の状況

問 特別定額給付金について、現在までの受付件数は何件になっているか。また、申請書が住所不明で戻ってきた方や、1人暮らしの高齢者の方などで、自力で申請書の提出が困難な方への対応について伺う。

答 オンライン申請が1千117世帯、6月15日までの郵送申請が5万3千435世帯の合計5万4千552世帯で申請率は94.1%である。また、申請書不達の124件は、6月下旬から現地調査を行う予定である。今後、未申請者に勧奨通知を送ることとしており、福祉部局と連携し、申請に支援が必要な方への対応を行う予定である。

④ 避難所の対応

⑤ 学生の各種大会中止への対応

(2) 外国人への情報提供について

(3) 子ども食堂について

(4) 立地適正化計画について

(5) インフラの老朽化対策について

問 重要な生活インフラである橋や、トンネルなどの老朽化が深刻化している。敷島橋のような築50年以上のインフラで、道路メンテナンス事業補助制度を利用した取り組みは考えているのか。

答 早期に措置すべき状態の87橋について、これまで防災・安全交付金を活用して順次補修を進めているが、十分進んでいないと言いつつ状況であることから、橋やトンネルに特化した道路メンテナンス事業補助制度を利用し、橋の点検、補修などに取り組む予定である。

(6) 自転車の安全利用について

(7) 電動アシスト自転車購入支援事業について

新居浜の未来を考える会 合田晋一郎議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症の対応について

① 公共施設の利用休止時にお

ける活用

問 今後も起こり得る公共施設
の休館、使用休止時の対策の中
で、状況に応じて公共施設を利
活用できる仕組みづくりの検討
ができないか伺う。

答 市民の皆さんの命と健康を
守るためには、公共施設を休館、
使用休止し、密閉、密集、密接
の三つの密を避けるなど、感染
拡大防止の対策をとることは必
要な措置と考えている。今後は、
国や県の方針に沿った取り組み
を行いつつ、公共施設が有効に
利活用できるように努めていく。

②あかがねミュージアムの休
館による影響

③経済活動の回復

(2)防災センターについて

(3)公共施設再編計画の推進につ
いて

問 公共施設の再編を、身近な
ものとして市民に捉えてもらう
ために、公共施設の再編の意義
必要性について考えるきつか
け、考える場が必要ではないか。
40年後の未来を、子供たちと考
えられないか伺う。

答 本市の将来を担う子供たち
が将来のまちづくりについて自
ら考えることは大変有意義なこ
とであると思う。教育の場など

を通じてまちづくりについて考
えるような時間を設けることが
できないか、検討していきたい。

6月17日(水)

無党派

小野 志保議員 (10分)



(1)新型コロナウイルス感染症の
支援策について

- ①生活保護の状況
- ②緊急小口資金、総合支援資
金、寄り添い支援の状況
- ③支援の拡充

無党派

井谷 幸恵議員 (10分)



(1)学校給食施設整備基本計画の
変更案について

- ①経過と変更理由
- ②尊重すべき検討委員会答申
の趣旨
- ③巨大給食センターのリスク
への対応
- ④新型コロナウイルス禍にお
ける学校給食のあり方

(2)新型コロナウイルス禍での学
校再開について
①三密を避ける工夫

②少人数学級の必要性

自民クラブ

越智克範議員 (30分)



(1)新型コロナウイルス感染症対
策について

- ①給付金等の状況等
- ②児童生徒の学習、安全安心

問 学校における感染症対策の
ためには、遠隔授業の早期実施
が必要である。今後の見通しを
伺いたい。また、学校再開後の
児童生徒の精神的なケアが必要
と考えるが、取り組み状況につ
いて伺いたい。

答 オフライン環境でも利用で
きる家庭学習から実施し、状況
を確認しながら、遠隔授業につ
いても検討を進める。タブレット
は7月上旬に納入業者を決定
し、11月の導入を目標に準備す
る。また、精神的なケアについ
ては、アンケートなどで問題把
握に努めているが、今のところ
報告は無い。今後も一人一人に
向き合っていくことを基本と
し、子供に寄り添った対応に努
める。

- ③避難所の感染症対策
- ④介護施設への支援体制の強化
- ⑤第二波に向けた対策

⑥収束後の地域活性化策の検討

(2)コンパクトシティの進め方
について

問 コンパクトシティの取り
組みを進めているが、総合戦略
の令和6年の目標値、居住誘導
区域内における人口の割合は42・
6%達成への具体的な施策は何
か。また、具体的な立地適正化
計画の推進目標を設定してはど
うか。

答 公共施設の統廃合、再編の
推進や立地適正化計画の推進な
どにより、42・6%達成を目指
す。また立地適正化計画全体と
して居住誘導区域内の人口密度
を含め、3つの評価指標および
目標値を設定している。今後駅
南地区の整備など個別の事業が
具体化するものについては計画
の見直しを行いながら、より効
果的な立地適正化に取り組む。

(3)空き家対策について

自民クラブ

大條雅久議員 (30分)



(1)広域基幹林道加茂角野線につ
いて

(2)選挙の投票率アップに向けて

問 全国各地の自治体選挙で車
両を利用した移動期日前投票所

が活用されている。今年11月の市長選挙に導入し市内の高専や高校を回ってはどうか。生徒、学校関係者だけでなく近隣の市民にも投票参加を呼び掛けてほしい。

答 利用者が少ない地域では、軽自動車を使用し、少人数で実施している例があるが、利用者が多いと、大型車両の改造や混雑緩和のための人員配置が必要となる。新型コロナウイルス感染症への対応も必要であり、現状では課題が多い。引き続き情報収集し、実施体制や費用対効果などについても検討を進める。

(3) 認知症条例について

問 すみの見守り・SOSネットワーク協議会など住民有志が認知症高齢者や家族が安心して住める地域づくりを目指す活動をされている。市としてこうした住民活動を支援し、同時に認知症高齢者を支える条例制定の考えは。

答 国の認知症施策推進大綱に基づき、認知症の方からの発信支援や本人、家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みの整備に取り組みたい。また、条例制定については、先進事例も参考にしな

から、調査研究を行う。

(4) 発展、持続が可能な自治会活動の支援について

- ① 太陽光発電装置と家庭用蓄電池システムの設置
- ② Wi-Fi環境の整備

(5) 犬、猫等ペットを飼う際のルールやマナーについて

- ① 犬、猫の不妊去勢手術補助金
- ② 災害で避難した際のペットの取り扱い

(6) 狂犬病の予防接種

- ① 市民への広報
- ② 小中学校などでの成果活用

6月18日(木)

無党派

片平 恵美議員 (10分)



(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 障害者就労支援事業所への支援
- ② 障害児と保護者への支援

- ③ 飲食業者支援事業
- ④ 水道料金、下水道使用料の減免

(2) 金栄橋について

- ① 危険性の認識

- ② かけかえの見直し
- ③ 防災のための手だて

公明党議員団
河内 優子議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症について

- ① AIロボットの活用

問 新型コロナウイルス感染症により、不要不急の外出や人との交流が制限される中、高齢者の認知・運動機能の低下や孤立化が懸念される。AIロボットによる会話や体操が有効であると考えますが、所見を伺う。

答 AIロボットの設置は、Wi-Fi設備など通信環境の整備、経費が高額となること、情報通信機器の操作に対する不安感などから、希望する方が限られると考えられる。AIロボットの導入は、本年度実施するスマートシティ推進事業の中の一つのツールとして検討していく。

- ② 児童、生徒への影響
- ③ 高校生の就職

(2) 高齢者雇用について

(3) 障がい者雇用について

問 障がい者の自立のため、障がい者の雇用を支援する必要があると考える。障がい者を対象

にした合同企業説明会は障がい者の雇用を後押しできる取り組みと考えるが、所見を伺う。

答 昨年度より合同企業説明会開催に向けた関係者による協議を開始しているところであり、今後は、一般企業との面談に加え、就職支援相談や就労継続支援事業所などの紹介を含めた説明会を令和3年度から開催できるように準備を進めていく。

- (4) ひきこもり対策について
- (5) GIGAスクール構想について

新居浜の未来を考える会
篠原 茂議員 (30分)



(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 経済支援

問 テレワーク導入を検討中の企業向けに、各種システム、機器の選択、適正価格、セキュリティ対策などのガイドライン提示や、相談機関の紹介の支援策が必要だと思いが、どうか。

答 国のIT補助金と併用が可能な本市のテレワーク推進支援事業は、導入時の外部専門家のコンサルティング費用も対象としており、国も専門家派遣事業を実施していることから、国の



新居浜市議会事務局



←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

支援制度と連携しながら、市内事業者のテレワーク導入支援を推進したい。

② 子供たちへの影響

問 授業時間の不足により、勉強が「できる子」と「できない子」の格差が生まれている。放課後まなび塾に整備されているタブレットを活用して、学力の遅れが目立つ子供たちの学習をサポートしてはどうか。

答 放課後まなび塾にタブレットが既に整備されている所は、学習ソフトの活用や市で作成したプリントを使い、苦手な項目の復習など、学習の遅れが目立つ児童のサポートを重視して、学習支援に取り組んでいく。

(2) 移住促進政策について

- ① 現状
 - ② 移住者の声を生かした移住促進
 - ③ 所管課の一元化
 - ④ NPOとの協働
- (3) 駅伝のまち新居浜を目指して
- ① 指導者の育成
 - ② 練習場の整備
 - ③ 全国規模の大会誘致



委員会開催報告

議会閉会中に常任委員会および特別委員会を開催しました。その調査の主な内容についてお知らせします。

常任委員会

◎ 市民福祉委員会

7月7日(火)

昨年3月設立の新居浜市国際交流協会の現地視察を行いました。



国際交流協会現地調査

◎ 経済建設委員会

7月10日(金)

旧別子観光センター跡地整備事業、別子木材センターおよびさくらひめの栽培状況について、市担当部から聞き取り調査を行いました。

◎ 企画教育委員会

7月13日(月)

昨年度に改修工事を行った市民体育館の現地視察を行いました。



市民体育館現地調査

◎ 地方創生特別委員会

7月3日(金)

地域ポイント事業「新居浜あかがねポイント」について、市担当部から聞き取り調査を行いました。

特別委員会

◎ 防災・災害対策特別委員会

7月15日(水)

災害時の対応方針の協議事項について話し合い、国土強靱化地域計画について市担当部から聞き取り調査を行いました。

9月市議会定例会

時間 午前10時開会

本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

開催日	内 容
9月1日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
9月8日(火)	一般質問 伊藤 謙司 議員(40分) ・予算質疑 高塚 広義 議員(40分) (代表) 神野 恭多 議員(40分)
9月9日(水)	一般質問 小野 辰夫 議員(30分) ・予算質疑 井谷 幸恵 議員(10分) (個人) 片平 恵美 議員(10分) 米谷 和之 議員(20分)
9月10日(木)	一般質問 小野 志保 議員(10分) ・予算質疑 藤原 雅彦 議員(30分) (個人) 伊藤 優子 議員(30分) 合田晋一郎 議員(10分)
9月11日(金)	市民福祉委員会開催 経済建設委員会開催
9月14日(月)	企画教育委員会開催
9月17日(木)	委員長報告、討論、採決